

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）

〔PCT36条及びPCT規則70〕



出願人又は代理人 の書類記号 200310952	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 2004/000521	国際出願日 (日.月.年) 22.01.2004	優先日 (日.月.年)
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. G06F12/00(2006.01)		
出願人 (氏名又は名称) ヒューレット・パカード デベロップメント カンパニー エル.ピー.		

- この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
 - ☒ 附属書類は全部で 13 ページである。
 - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）
 - ☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
 - ☐ 電子媒体は全部で _____（電子媒体の種類、数を示す）。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
（実施細則第802号参照）

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☒ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 18.08.2005	国際予備審査報告を作成した日 28.03.2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 相崎 裕恒 電話番号 03-3581-1101 内線 3599	5M 9290

様式PCT/IPEA/409（表紙）（2005年4月）

BEST AVAILABLE COPY

第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-22 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 2, 3, 6, 11, 14, 15, 18 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 1, 5, 7-10, 12, 13, 17, 19-27 _____ 項*、10.11.2005 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-16 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☒ 請求の範囲 第 4, 16 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 22-27

理由：

☐ この国際出願又は請求の範囲 _____ は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☐ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 _____ の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 _____ が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☒ 請求の範囲 22-27 _____ について、国際調査報告が作成されていない。

☐ 入手可能な配列表が存在せず、有意義な見解を示すことができなかった。

出願人は所定の期間内に、

☐ 実施細則の附属書Cに定める基準を満たす紙形式の配列表を提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ 実施細則の附属書Cに定める基準を満たす電子形式の配列表を提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ PCT規則13の3.1(a)又は(b)及び13の3.2に基づく命令に応じた、要求された配列表の遅延提出手数料を支払わなかった。

☐ 入手可能な配列表に関連するテーブルが存在しないため、有意義な見解を示すことができなかった。すなわち、出願人が、所定の期間内に、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を満たす電子形式のテーブルを提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法でテーブルを入手することができなかった。

☐ ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが電子形式のみで提出された場合において、当該テーブルが、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-3, 5-15, 17-21	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲 1-3, 5-15, 17-21	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-3, 5-15, 17-21	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

請求項 1-3, 5-15, 17-21 に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

10/585346 36 JUL 2006

請求の範囲

1. (補正後) 複数の階層に分かれた処理により、データベースを操
5 作するデータベース操作装置であって、前記処理は、他の階層の処理を起動する
起動処理、および、前記起動処理により起動される被起動処理またはこれらのい
ずれかであって、前記被起動処理の1つ以上は、前記データベースに対する操作
を行い、
- 1つ以上の前記起動処理を含む処理集合を定義する集合定義手段と、
- 10 前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記処理集合に含まれる起
動処理により起動されたデータベース操作処理の処理結果とに基づいて、少なく
とも、このデータベース操作処理による前記データベースに対する操作の内容を
制御する処理制御手段と、
- 前記処理集合それぞれに対して、この処理集合に含まれる起動処理、お
15 よび、この処理集合に含まれる起動処理により起動される被起動処理のための記
憶領域を設定する記憶領域設定手段と、
- 前記処理集合それぞれに含まれる処理のために用いられるデータを、前
記処理集合それぞれに対して設定された記憶領域において管理するデータ管理手
段と
- 20 を有するデータベース操作装置。
2. 前記階層は、3つ以上に分かれ、
- 前記処理制御手段は、前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記
処理集合に含まれる起動処理により起動されたデータベース操作処理以外の被起
25 動処理の処理結果とに応じて、前記データベース操作処理以外の被起動処理の処
理内容を、さらに制御する
- 1に記載のデータベース操作装置。
3. 1つ以上の前記データベース操作処理を含むライブラリ手段

をさらに有し、

前記データベース操作処理を起動する起動処理は、前記ライブラリ手段
に含まれる前記データベース操作処理を起動する

1に記載のデータベース操作装置。

5

4. (削除)

5. (補正後) 前記被起動処理それぞれは、この被起動処理を起動した起動処理に対して、処理の結果を示す戻り値を返し、

前記階層は、

インターフェース層と、

5 アプリケーション層と、

データベース層と

を含み、

前記インターフェース層は、

10 前記起動処理として、外部からの操作に応じて、前記アプリケーション層に含まれる被起動処理を起動し、起動した被起動処理から返された戻り値に応じた処理を行うユーザインターフェース処理、1つ以上

を含み、

前記アプリケーション層は、

15 前記起動処理および前記被起動処理として、前記インターフェース処理により起動され、前記データベース層に含まれるデータベース操作処理を1つ以上、起動し、前記起動されたデータベース操作処理からの戻り値に基づいて、前記データベースを用いたサービスを実現し、前記戻り値として、このサービスの結果を、前記ユーザインターフェース処理に返すアプリケーション処理、1つ以上

20 を含み、

データベース層は、

前記データベース操作処理として、前記アプリケーション処理により起動され、前記データベースに対する操作を行い、前記戻り値として、このデータベースに対する操作の結果を、前記アプリケーション処理に返すデータベース操
25 作処理、1つ以上

を含む

1に記載のデータベース操作装置。

6. 前記処理制御手段は、

前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により、前記データベース操作処理が、最初に起動されたときに、前記起動されたデータベース操作処理と、前記データベースとを接続し、

5 前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により、最後に起動された前記データベース操作処理が終了したとき、または、前記データベース操作処理が失敗したときに、前記起動されたデータベース操作処理と、前記データベースとを切断する

ように、前記データベース操作処理の実行を制御する

5に記載のデータベース操作装置。

10

7. (補正後) 前記処理制御手段は、

前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により、最後に起動された前記データベース操作処理が成功したときに、前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により起動された前記データベース操作処理の結果を、
15 前記データベースにおいて確定させ、

これ以外のときには、前記データベースを、前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により、前記データベース操作処理が最初に起動される前の状態に戻す

5に記載のデータベース操作装置。

20

8. (補正後) 前記処理制御手段は、

前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により起動された前記データベース操作処理が失敗したときに、前記データベースを、前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により、前記データベース操作処理が最初
25 に起動される前の状態に戻す

5に記載のデータベース操作装置。

9. (補正後) 複数の階層に分かれた処理により、所定の情報処理を行う情報処理装置であって、前記処理は、他の階層の処理を起動する起動処理、および、前記起動処理により起動される被起動処理またはこれらのいずれかであ
5 って、

1つ以上の前記起動処理を含む処理集合を定義する集合定義手段と、

前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記処理集合に含まれる起動処理により起動された被起動処理の処理結果とに応じて、この被起動処理の処理内容を制御する処理内容制御手段と、

10 前記処理集合それぞれに対して、この処理集合に含まれる起動処理、および、この処理集合に含まれる起動処理により起動される被起動処理のための記憶領域を設定する記憶領域設定手段と、

前記処理集合それぞれに含まれる処理のために用いられるデータを、前記処理集合それぞれに対して設定された記憶領域において管理するデータ管理手
15 段と

を有する情報処理装置。

10. (補正後) 複数の階層に分かれた処理により、データベースを操作するデータベース操作方法であって、前記処理は、他の階層の処理を起動する起動処理、および、前記起動処理により起動される被起動処理またはこれらの
20 いずれかであって、前記被起動処理の1つ以上は、前記データベースに対する操作を行い、

1つ以上の前記起動処理を含む処理集合を定義する定義ステップと、

前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記処理集合に含まれる起動処理により起動されたデータベース操作処理の処理結果とに基づいて、少なく
25 とも、このデータベース操作処理による前記データベースに対する操作の内容を制御する処理制御ステップと、

前記処理集合それぞれに対して、この処理集合に含まれる起動処理、および、この処理集合に含まれる起動処理により起動される被起動処理のための記

憶領域を設定する記憶領域設定ステップと、

前記処理集合それぞれに含まれる処理のために用いられるデータを、前記処理集合それぞれに対して設定された記憶領域において管理するデータ管理ステップと

5 を含むデータベース操作方法。

1 1. 前記階層は、3つ以上に分かれ、

処理制御ステップは、前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記処理集合に含まれる起動処理により起動されたデータベース操作処理以外の被起動処理の処理結果とに応じて、前記データベース操作処理以外の被起動処理の処理内容を、さらに制御する

10

1 0 に記載のデータベース操作方法。

1 2. (補正後) 複数の階層に分かれた処理により、所定の情報処理を行う情報処理方法であって、前記処理は、他の階層の処理を起動する起動処理、および、前記起動処理により起動される被起動処理またはこれらのいずれかであって、

5 1つ以上の前記起動処理を含む処理集合を定義する集合定義ステップと、

前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記処理集合に含まれる起動処理により起動された被起動処理の処理結果とに応じて、この被起動処理の処理内容を制御する処理内容制御ステップと、

10 前記処理集合それぞれに対して、この処理集合に含まれる起動処理、および、この処理集合に含まれる起動処理により起動される被起動処理のための記憶領域を設定する記憶領域設定ステップと、

前記処理集合それぞれに含まれる処理のために用いられるデータを、前記処理集合それぞれに対して設定された記憶領域において管理するデータ管理ス

15 テップと

を含む情報処理方法。

(補正後)
1 3. 複数の階層に分かれた処理により、データベースを操作するデータベース操作装置のプログラムであって、前記処理は、他の階層の処理を起動する起動処理、および、前記起動処理により起動される被起動処理またはこれらのいずれかであって、前記被起動処理の1つ以上は、前記データベースに対する操作を行い、

20 1つ以上の前記起動処理を含む処理集合を定義する集合定義ステップと、

25 前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記処理集合に含まれる起動処理により起動されたデータベース操作処理の処理結果とに基づいて、少なくとも、このデータベース操作処理による前記データベースに対する操作の内容を制御する処理制御ステップと、

前記処理集合それぞれに対して、この処理集合に含まれる起動処理、お

よび、この処理集合に含まれる起動処理により起動される被起動処理のための記憶領域を設定する記憶領域設定ステップと、

前記処理集合それぞれに含まれる処理のために用いられるデータを、前記処理集合それぞれに対して設定された記憶領域において管理するデータ管理ス

5 テップと

をコンピュータに実行させるプログラム。

14. 前記階層は、3つ以上に分かれ、

前記処理制御ステップは、前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、

10 前記処理集合に含まれる起動処理により起動されたデータベース操作処理以外の被起動処理の処理結果とに応じて、前記データベース操作処理以外の被起動処理の処理内容を、さらに制御する

13に記載のプログラム。

15. 1つ以上の前記データベース操作処理を含むライブラリ
をさらに有し、

前記データベース操作処理を起動する起動処理は、前記ライブラリに含まれる前記データベース操作処理を起動する

5 13に記載のプログラム。

16. (削除)

17. (補正後) 前記被起動処理それぞれは、この被起動処理を起動
10 した起動処理に対して、処理の結果を示す戻り値を返し、

前記階層は、

インターフェース層と、

アプリケーション層と、

データベース層と

15 を含み、

前記インターフェース層は、

前記起動処理として、外部からの操作に応じて、前記アプリケーション層に含まれる被起動処理を起動し、起動した被起動処理から返された戻り値に応じた処理を行うユーザインターフェース処理、1つ以上

20 を含み、

前記アプリケーション層は、

前記起動処理および前記被起動処理として、前記インターフェース処理により起動され、前記データベース層に含まれるデータベース操作処理を1つ以上、起動し、前記起動されたデータベース操作処理からの戻り値に基づいて、前記データベースを用いたサービスを実現し、前記戻り値として、このサービスの結果を、前記ユーザインターフェース処理に返すアプリケーション処理、1つ以上

を含み、

データベース層は、

前記データベース操作処理として、前記アプリケーション処理により起動され、前記データベースに対する操作を行い、前記戻り値として、このデータベースに対する操作の結果を、前記アプリケーション処理に返すデータベース操作処理、1つ以上

5 を含む

13に記載のプログラム。

18. 前記処理制御ステップは、

前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により、前記データベース操作処理が、最初に起動されたときに、前記起動されたデータベース操作処理と、前記データベースとを接続し、

前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により、最後に起動された前記データベース操作処理が終了したとき、または、前記データベース操作処理が失敗したときに、前記起動されたデータベース操作処理と、前記データベースとを切断する

15 ように、前記データベース操作処理の実行を制御する

17に記載のプログラム。

19. (補正後) 前記処理制御ステップは、

20 前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により、最後に起動された前記データベース操作処理が成功したときに、前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により起動された前記データベース操作処理の結果を、前記データベースにおいて確定させ、

これ以外のときには、前記データベースを、前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により、前記データベース操作処理が最初に起動される前の状態に戻す

17に記載のプログラム。

20. (補正後) 前記処理制御ステップは、

前記処理集合に含まれる前記アプリケーション処理により起動された前
記データベース操作処理が失敗したときに、前記データベースを、前記処理集合
に含まれる前記アプリケーション処理により、前記データベース操作処理が最初
5 に起動される前の状態に戻す

17に記載のプログラム。

21. (補正後) 複数の階層に分かれた処理により、所定の情報処理
を行う情報処理装置のプログラムであって、前記処理は、他の階層の処理を起動
10 する起動処理、および、前記起動処理により起動される被起動処理またはこれら
のいずれかであって、

1つ以上の前記起動処理を含む処理集合を定義する集合定義ステップと

前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記処理集合に含まれる起
15 動処理により起動された被起動処理の処理結果とに応じて、この被起動処理の処
理内容を制御する処理内容制御ステップと、

前記処理集合それぞれに対して、この処理集合に含まれる起動処理、お
よび、この処理集合に含まれる起動処理により起動される被起動処理のための記
憶領域を設定する記憶領域設定ステップと、

20 前記処理集合それぞれに含まれる処理のために用いられるデータを、前
記処理集合それぞれに対して設定された記憶領域において管理するデータ管理ス
テップと

をコンピュータに実行させるプログラム。

2 2. (追加) 複数の階層に分かれた処理により、データベースを操
作するデータベース操作装置であって、前記処理は、他の階層の処理を起動する
起動処理、および、前記起動処理により起動される被起動処理またはこれらのい
ずれかであって、前記被起動処理の1つ以上は、前記データベースに対する操作
5 を行い、

前記階層ごとに、1つ以上の前記起動処理を含む処理集合を定義する集
合定義手段と、

前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記処理集合に含まれる起
動処理により起動されたデータベース操作処理の処理結果とに基づいて、少なく
10 とも、このデータベース操作処理による前記データベースに対する操作の内容を
、前記階層ごとに制御する処理制御手段と
を有するデータベース操作装置。

2 3. (追加) 前記階層は、3つ以上に分かれ、
15 前記処理制御手段は、前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記
処理集合に含まれる起動処理により起動されたデータベース操作処理以外の被起
動処理の処理結果とに応じて、前記データベース操作処理以外の被起動処理の処
理内容を、さらに制御する

2 2に記載のデータベース操作装置。
20

2 4. (追加) 1つ以上の前記データベース操作処理を含むライブラ
リ手段
をさらに有し、

前記データベース操作処理を起動する起動処理は、前記ライブラリ手段
25 に含まれる前記データベース操作処理を起動する
1に記載のデータベース操作装置。

2 5. (追加) 複数の階層に分かれた処理により、データベースを操
作するデータベース操作装置のプログラムであって、前記処理は、他の階層の処

理を起動する起動処理、および、前記起動処理により起動される被起動処理またはこれらのいずれかであって、前記被起動処理の1つ以上は、前記データベースに対する操作を行うデータベース操作処理であって、

5 前記階層ごとに、1つ以上の前記起動処理を含む処理集合を定義する集合定義ステップと、

前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記処理集合に含まれる起動処理により起動されたデータベース操作処理の処理結果とに基づいて、少なくとも、このデータベース操作処理による前記データベースに対する操作の内容を、前記階層ごとに制御する処理制御ステップと

10 をコンピュータに実行させるプログラム。

26. (追加) 前記階層は、3つ以上に分かれ、

前記処理制御ステップは、前記処理集合に含まれる起動処理の進行と、前記処理集合に含まれる起動処理により起動されたデータベース操作処理以外の被起動処理の処理結果とに応じて、前記データベース操作処理以外の被起動処理の処理内容を、さらに制御する

15 15に記載のプログラム。

20 27. (追加) 1つ以上の前記データベース操作処理を含むライブラリ

をさらに有し、

前記データベース操作処理を起動する起動処理は、前記ライブラリに含まれる前記データベース操作処理を起動する

25 25に記載のプログラム。